

東京社会福祉士会 ニュース



公益社団法人 東京社会福祉士会
Tokyo Association of Certified Social Workers

No.240
December 2017

自殺予防ソーシャルワーク 「誰も追い込まれることのない社会」へ

改正自殺対策基本法（2016.4施行）に基づく「自殺総合対策大綱」が今年7月に閣議決定され、各都道府県で現在「自殺対策計画」の策定作業が進められています（東京都では来年5月下旬にとりまとめ予定）。



いのち
支える

会員各位におかれては“いまさら”となって恐縮ですが、改正後の基本法には、基本理念として、以下の一節が追加されています。

「自殺対策は、生きることの包括的な支援として、全ての人がかけがえのない個人として尊重されるときともに、生きる力を基礎として生きがいや希望を持って暮らすことができるよう、その妨げとなる諸要因の解消に資するための支援とそれを支えかつ促進するための環境の整備充実が幅広くかつ適切に図られることを旨として、実施されなければならない」（第2条第1項）

すなわち、「地域包括ケアを拡充せよ、地域共生社会を実現せよ。それがすなわち自殺対策である」ということが謳われているわけです。わが国の自殺予防施策のスローガンは「誰も自殺に追い込まれることのない社会」。それを現実のものとするには、我々ソーシャルワーカーによる不断の取組みが必要であるということです。

当会では、このほど日常の相談援助の場で「自殺」とどのように向き合えばよいのか、その実践知を学ぶ「自殺予防ソーシャルワーク研修」を開催しました（11月18日開催、厚生労働省「自殺防止対策事業」補助事業）。その内容要約を速報します。

Contents

自殺予防ソーシャルワーク	1	事務局から～ホームページの使い方	16
「誰も自殺に追い込まれることのない社会」へ		事務局から～誌面広告のご案内	18
「高齢者夜間安心電話」を詳しくご案内します	5	事務局から～社会福祉士限定ネット求人広告のご案内	19
データからみる「高齢者安心電話の現状」	10	周りの国試受験生に伝えてほしい3つの直前アドバイス	21
TOKYO-CSWトピック「こだいら社会福祉士会」発足	12	忘れないで!! 2月10日は「実践研究大会」の日!	22
CSWの備忘録～2018年、制度の動きを先読み	13	事務局から——各種手続きについて／お詫びと訂正	23
情報ファイル（地区会／センターからの告知）	14	「TOKYO SOCIAL FES 2017」開催／編集後記	24

若者よ、ヒーローたれ!? 来たれ、福祉への道!

若年層向けに福祉・介護の仕事を cool にアピールするイベント「TOKYO SOCIAL FES 2017」(主催・東京都)が11月19日、渋谷・ヒカリエで開催された。日本一カッコいい介護福祉士と現役介護福祉士兼モデルによるトークショー、医療福祉系新感覚ダンスパフォーマンス、VRによる認知症体験、暗闇体験エンターテインメントなど、キラキラな催事がぎゅっと凝縮した時間空間だった。



忘れてはならないのが、わが東京社会福祉士会からも有志メンバー(※)が参加した「ふくしのことがよくわかるカフェ」。会場内に特設されたカフェで現役の社会福祉士や介護福祉士がボランティアでホールスタッフに扮し、珈琲や軽食を提供しがてら、お客から声をかけられたらテーブルサイドにしばし留まり、質問に答え、歓談するという趣向である(テーブル上にスタッフのプロフィールが「お品書き」のように置かれており、着席したお客はそれを見て“指名”することができるのだ)。

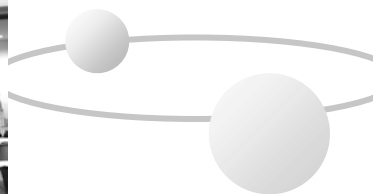
写真①は、出店したカフェのひとつ、「cafe シモキタナリ」のPRキャラ=くつべらマン。かつて児童養護施設の職員であった同店の代表の「若者の自立・旅立ちを応援したい」という願いが“物質化”し、「出発の手助け⇒くつべら」との捻りで突如異次元から召喚された自称・正義のヒーローだという。**写真②**は、なりきってサービス中の川崎裕彰さん(当会会員)。本当にお洒落なカフェにいそろだ。**写真③**は、福祉系大学生から“指名”を受け、社会福祉士の仕事内容について質問攻めにあう渡辺和弘さん(当会理事)と岩本真美さん(当会事務局員/会員)。福祉の道へのささやかな縁(えにし)になれば…と奮闘した晩秋の1日。



写真① ヒーロー業だけでは食べていけず、額に汗して働く「くつべらマン」。カメラを向けただけでポーズをとってくれた!



写真② 川崎さんが運ぶのは障害者通所施設「小茂根福祉園」のフクロウ珈琲。香り高く、好評を博した。



※当会からは岩本真美さん、川崎裕彰さん、湯澤学さん、渡辺和弘さんの計4名(50音順)がボランティア参加しました。お疲れさまでした。



写真③ 学生さんたち(左側)曰く「国家試験に合格したら東京社会福祉士会に入ります」とのこと。待ってますよ!!

編集後記

▽今号は事情により、通常から半月ずらした15日発行となりました(通常は1日発行です)。大変失礼いたしました。▽すでに師走半ば。流行語大賞も「今年の漢字」も決まっている時節かと存じます(前者は「忖度」、後者は「腎」ではないかと、11月末現在、個人的に予想しております)。▽いろいろあった2017年でしたが、自殺問題に関わる関係者の間では、否が応でも長く記憶される年になることでしょう。そう、ネット上に自殺願望を書き込んだ10代~20代の若者が、犯人におびき出され、手につなげられた「座間連続殺害事件」です。孤独や不安から逃れ、わかってくれる人とつながりたいという一心で記した書き込みが、殺人犯との縁を取り結ぶという不条理。ご本人ご遺族の無念を思うと胸が痛いです…▽奇しくも、今号のトップ記事は自殺対策。「誰も追い込まれることのない社会」のために、まず何をすべきか。ともに考える出発点になればと念じます。▽皆様、どうかよいお年を。(次号は2月) (広報推進本部編集長:福島敏之)

発行:公益社団法人 東京社会福祉士会
 発行人:大輪典子
 編集:広報推進本部
 印刷:東京都大田福祉工場

お問合せ先



公益社団法人 **東京社会福祉士会**
 Tokyo Association of Certified Social Workers

〒170-0005
 東京都豊島区南大塚3-43-11 福祉財団ビル5階
 TEL: 03-5944-8466
 FAX: 03-5944-8467
 mail: cswtokyo@tokyo-csw.org
 HP: http://www.tokyo-csw.org



ホームページが
 ご覧いただけます
 QRコード